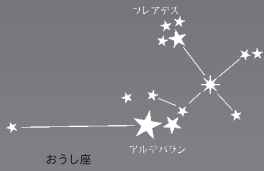


ポラリスを仰ぐ北の大地から



還暦を迎えて

美幌医師会 会長 工藤 康生

私は9月でとうとう60歳の誕生日を迎えました。美幌医師会では80歳で老健の施設長をされている先生、60代で当直もされている勤務医の先生もおられます。皆さんには、なんだまだ60歳じゃないかと言われると思いますし、自分でもまだ元気だと思っ

ていますが、60歳になって少し自分が変わったことを書かせていただきます。

35年前、大学を卒業し一般外科に入局し医師としての人生をスタートしました。20代のころは外科医としての基礎を学ぶことで精一杯、30代になって手術を主にした診療、学会発表で非常に忙しい生活をしていました。

その頃の私は患者さんと話してはいましたが、その方の病気しか見ておらず、治療がうまくいけばほかはどうでもいいやと思っていました。自分が非常に元気で体力もあったため、患者さんの不安と痛む気持ちを共有できていなかったと思います。

20年前に父の診療所を継承しましたが、勤務医であった時よりさらに患者さんの訴えが多いことに戸惑ったものです。

しかし数年前からゴルフの飛距離が落ちて、お酒が弱くなるのと比例して、患者さんの訴えを自分のことのように共感して考えられるようになってきたのです。それは若く元気はつらつな頃にはなかったことだと反省しております。年を取って失うことも多くありますが、成長することは60歳になっても70歳になってもあるものだと思います。

医者も多少、体が弱ってから旬を迎えると強がって、これからもできるだけ長く診療を続けられたらと思っています。

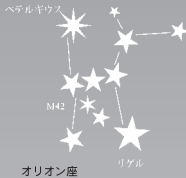
還暦何するものぞこれからも楽しく頑張るぞー。

北極星

こくま座



ふたご座



オリオン座

近況報告

網走医師会 会長 金川 有一

今年の網走の夏は大きな災害もなく穏やかに過ぎようとしています。

毎週木曜日には、大型外国クルーズ客船「サンプリンセス号」が出航する様子が見られます。

昨年10月、前会長の大平先生の体調不良のため急遽会長に就任し、早1年になるところです。網走も少子高齢化で地域包括医療の検討に当たらねばならないところですが、今現在の課題は来年度からの救急医療にあります。会員数の減少、看護スタッフ不足のためなどにより、輪番制による日曜・祝祭日等の救急体制が取れなくなりつつあります。救急センター化の提案があり、会員の意向調査のためアンケートを取ったところです。

何かいい案があればご教示お願いいたします。

